

# アジアを知る エジプト映画『678』から



## 今回のテーマ「解放」

タイトルの「678」は、カイロ市内の公営バスの番号だ。この路線バスを使って通勤する公務員のファイザは、車内での痴漢行為に悩まされてきた。工芸作家のセバは、夫と訪れたサッカー場で男たちに囲まれ、性的暴行を受ける。コールセンターで働くネッリーは、受話器から聞こえる言葉の嫌がらせにうんざりしていた。ある日、路上で痴漢被害に遭い、彼女の怒りは頂点に達する。

2011年革命に向かうエジプトを舞台に、女性たちの日常を描いた本作品を通して、シンポジウムでは人々にとっての「解放」とは何であるのかを考えてみたい。

◆日時： 2016年1月26日（火） 17:00-20:30

◆会場： 東京大学 本郷キャンパス 福武ラーニングシアター

### ◆プログラム

17:00 開会の言葉

17:10 映画『678』上映

18:50 コーヒーブレイク

19:10 コメント

松永典子氏（帝京大学）

森山至貴氏（東京大学）

鳥山純子氏（日本学術振興会）

19:50 質疑応答

20:20 閉会の言葉

#### 【主催】

東京大学 日本・アジアに関する教育研究ネットワーク  
中東映画研究会

#### 【共催】

東京大学 東洋学研究情報センター・セミナー  
東文研・班研究「中東の社会変容と思想運動」

準備の都合上、事前に下記のアドレス  
まで参加希望のご連絡をお願いします。  
[mecinema2014\[at\]gmail.com](mailto:mecinema2014[at]gmail.com)